

**CASBEE 広島 2016年版**  
 ヤシマコントロールシステムズ株式会社本社工機新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>	
<b>Q1 室内環境</b>					0.33	-	-	<b>2.8</b>	
<b>1 音環境</b>				<b>2.8</b>	0.15	-	-	<b>2.8</b>	
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-		
1.2 遮音				<b>2.6</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能				2.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	-	-	<b>2.0</b>	
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.9</b>	0.25	-	-	<b>2.9</b>	
3.1 昼光利用				<b>2.4</b>	0.30	-	-		
1 昼光率				2.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		事務所:500lx以上1000lx未満		<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.8</b>	0.25	-	-	<b>3.8</b>	
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		規制対象外またはF☆☆☆☆		4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				<b>3.3</b>	0.30	-	-		
1 換気量		必要換気量の1.4倍		5.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		事務室床面積の1/30以上の自然換気有効開口面積を有する		4.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				<b>4.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		敷地内全面禁煙		5.0	0.50	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.1</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>2.5</b>	0.40	-	-	<b>2.5</b>	
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.6</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.3</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務所:天井高さ2.70m		4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+ウォーターサーバー設置		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画				1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.30	-	-	<b>3.2</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.8</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		金属サイディング:30年以上		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種のうち2種以上にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.7</b>	0.30	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.4</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			事務所:3.50m、工場:7.60m(面積按分)	4.0	0.60	3.0	-
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	3.0	-
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			事務所:2900N/m <sup>2</sup> 、工場:100,000N/m <sup>2</sup> (面積按分)	<b>4.0</b>	0.30	3.0	-
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.37	-	-
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPI][BPI <sub>m</sub> ] = 0.74	5.0	0.20	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.85	2.7	0.50	-	-
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制				2.0	0.50	-	-
集合住宅の評価				3.0	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-
1.1 節水			省水型便器、自動水栓、節水コマ	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.60	-	-
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			断熱材(事務所屋根)、ビニル床(更衣室床)、タイルカーペット(事務室床)	5.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			分別が容易な工法を採用し、OAフロアを導入	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-
1 消火剤				-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP=3	4.0	0.50	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率89%	3.4	0.33	-	-
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			充実した駐車駐輪施設および複数車両出入口の計画	4.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-
2 振動				-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害チェックリストの過半を満たし、広告物照明はなし	5.0	0.70	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-